参考資料１

大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 保健福祉部会・介護保険部会・認知症施策部会での委員意見に対する回答

委員	意見	回答
土岐委員	福祉人材の不足が改善された旨記載があるが、訪問系・入所系など、どちらがどれくらい改善されているのか。	訪問系の事業者に対して、個別の実態調査を実施していないため、改善状況を把握できておりません。なお、入所系については、令和７年度大阪市高齢者実態調査において、特に認知症高齢者グループホームでは「確保できていない」が前回（令和４年度）調査より7.1ポイント減少しています。
光山委員	外国人材が普及したことで人材不足が解消されたのであれば、福祉人材の構成割合を出してほしい。	2025（令和7）年度大阪市高齢者実態調査において実施した施設調査では、福祉人材の構成割合は調査項目に含まれていないため把握しておりません。一方、大阪府が府内の指定介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及び介護医療院、認知症グループホーム（計1,494施設）を対象に実施した「令和8年度外国人介護人材の受入状況等に関するアンケート」によれば、298施設から回答があり、外国人介護人材1,700人を受け入れている状況です。